

地下水利用協力金の状況について

1 目的

他の自治体の多くは、水資源の保全費用は水道利用者が負担していますが、地下水を公水と位置づけた本市では、地下水利用に対する秩序ある規制を図るため、地下水利用事業者にも公平に負担していただくものとして、昭和50年から協力金をいただいています。

2 協力金単価の推移

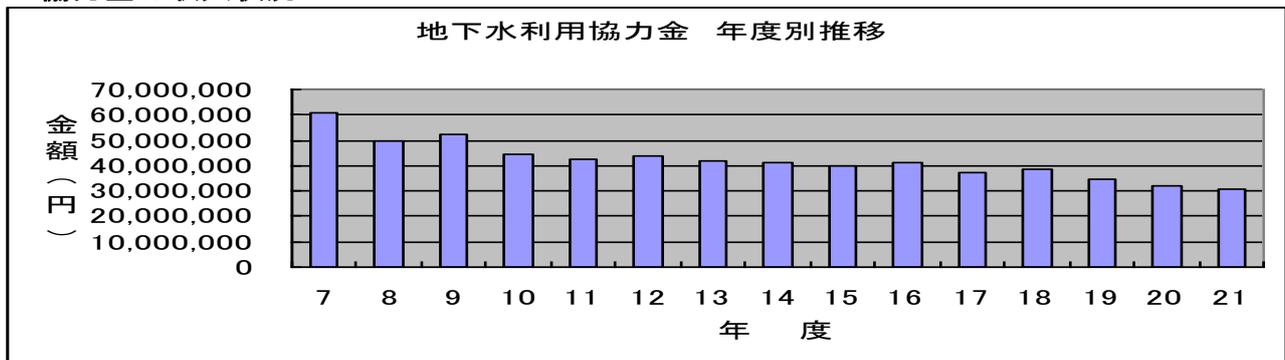
年 月	金 額	改定率	年 月	金 額	改定率
昭和50年 4月	5円		昭和55年10月	15円	50.00%
昭和53年 7月	7.5円	50.00%	昭和62年 4月	17円	13.33%
昭和54年 4月	10円	33.33%	平成 7年 4月	20円	17.64%

3 協力金の単価に関する要綱上の規定

- (1) 「秦野市地下水の保全及び利用の適正化に関する要綱」第3条第2項
 (2) 算定方法 本市水道事業会計の前年度決算に計上された、平均供給単価の3分の1に相当する額を限度として、関係者協議の上、定める。

平均供給単価 (A)	3分の1に相当する額(B)	現在の協力金単価
89.63円	29.87円	20円

4 協力金の収入状況



5 協力金の充当事業について (平成21年度)

事業名	内 容	支出額
地下水モニタリング事業	地下水位等を観測し、地質等のデータと共に整理・検証を行い、将来の地下水流動予測の構築	10,736,000円
家庭用雨水浸透ます設置補助金交付事業	雨水を地下に浸透させてかん養する「家庭用雨水浸透ます」の設置者に対する補助金の交付	337,500円
水田かん養事業	休耕田や冬期水田に水を張り、地下に浸透させて、地下水の人工かん養を行うための借地や管理委託の実施	1,217,930円
地下水注入事業	地下水のかん養のため、循環冷却水の地下注水	364,710円
雨水浸透施設事業	雨水浸透装置を設置して、地下水の人工かん養の実施	1,572,650円
地下水保全事業	地下水利用事業者の水量を測定する量水器の設置や観測井の維持管理などの地下水保全全般	20,908,911円
森林づくり事業負担金	水源かん養機能をさらに高められるよう、一般会計の森林づくり事業費(7,855,000円)の一部負担	3,000,000円

6 協力金収入に対する支出状況

	項 目	金 額	備 考
収 入	地下水利用協力金	31,008,310円	A
	水源環境保全・再生市町村交付金(地下水保全対策)	7,934,192円	B
	小 計	38,942,502円	C (A+B)
支 出	充当事業支出額	38,137,701円	D
差 引	—	804,801円	C-D